

令和7年度 住民参加型山田町災害ボランティアセンター設置運営訓練 実施要項

1 目 的

近年、毎年のように全国各地で自然災害が多発し、甚大な被害が発生しています。被災地域ではボランティアによる復旧支援を円滑に進めるべく災害ボランティアセンター設置運営の状況が続いている一方、被災地域の多発によるボランティア不足が懸念されています。また、南海トラフ地震や首都直下型地震、日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震の被害想定が公表され、発災後は交通インフラ被害等により被災地外からの支援が困難になることが想定されます。

これらの状況を踏まえると、今後はこれまで以上に被災地元関係者や住民が中心となった住民参加型災害ボランティアセンターの運営を推進する必要があり、そのための顔の見える関係づくりや訓練の協働実施が重要となってきます。

こうしたことから、本町において局所的な災害が発生したことを想定して、速やかに災害ボランティアセンターを設置し、関係者及び地域住民と協働した被災者支援活動を展開するため「住民参加型」の災害ボランティアセンター設置運営訓練を実施します。

2 主 催

社会福祉法人山田町社会福祉協議会

3 後 援

山田町、いわて NPO 災害支援ネットワーク (INDS)

4 日 時

令和7年11月15日(土) 9時30分～12時30分

5 会 場

山田町社会福祉協議会 会議室・駐車場 ※雨天の場合は会議室のみの実施となります。

6 参加対象者

(1) 山田町災害ボランティアセンター運営に携わる可能性のある方

(行政、福祉関係機関、消防団、自主防災組織、防災士、行政区長、自治会、民生委員・児童委員、ボランティア、NPO、社会福祉協議会等)

(2) 災害ボランティア、災害ボランティアセンターの運営に関心のある方(山田町在住の方)

7 定 員

30名 ※先着順とし、定員に達し次第締め切りと致します。

8 参加費

無料

9 持ち物・服装

筆記用具、スマートフォン(無くても可)、動きやすい服装で各自防寒対策をお願いします。

10 講 師

社会福祉法人岩手県社会福祉協議会 地域福祉企画部 部長 檜木英裕 氏

11 申込方法

令和7年11月7日(金)までに右記QRコードからお申し込み下さい。

※読み取れない場合は、別添チラシ裏面の申込書をFAXまたはご提出下さい。

FAX: 0193-82-5670 申込窓口: 山田町社会福祉協議会事務局



12 日程及びプログラム

時間	内容
09:00	受付
09:30 (5分)	開会・主催者あいさつ
09:35 (20分)	講義 「災害 VC とは、地域協働型災害 VC について」 講師:岩手県社会福祉協議会 地域福祉企画部 部長 檜木英裕 氏
09:55 (20分)	説明 訓練被害想定、訓練内容及び各班の役割について 説明:山田町社会福祉協議会 地域福祉課長 阿部寛之
10:15 (10分)	休憩・訓練会場移動(駐車場)
10:25 (35分)	各班ミーティング・準備 指示説明:各班リーダー 配置班の役割確認、書類・資機材確認
11:00 (45)	訓練 災害 VC 設置運営のロールプレイ
11:45 (15分)	各班振り返り 各班リーダーが進行
12:00 (10分)	各班振り返り発表 各班より1名発表者選出
12:10 (10分)	講評 岩手県社会福祉協議会 地域福祉企画部 部長 檜木英裕 氏
12:20 (10分)	アンケート記入
12:30	訓練終了・閉会

※VC…災害ボランティアセンターの略

13 訓練災害想定

令和元年台風第19号豪雨災害に相当する土砂災害及び床上・床下浸水とする。

14 訓練の中止について

気象庁による下記警報等が発令された場合は、参加者及び関係者の安全確保の観点から訓練を中止と致します。なお、この場合は参加者へ事業中止の連絡を電話により行います。

- (1) 大津波または津波警報及び注意報発令時
- (2) 大雨警報、洪水警報、暴風警報発令時

15 お問合せ先

社会福祉法人山田町社会福祉協議会「地域福祉課」 担当者 阿部

〒028-1321 岩手県下閉伊郡山田町山田第15地割82番地2

TEL/0193-77-3260 FAX/0193-82-5670 e-mail/h-abe@yamada-shakyo.or.jp

＝実施要項・チラシダウンロード＝

当会ホームページ新着情報 <http://www.yamada-shakyo.or.jp/>

